

FMV-BIBLO

MC3/45

リカバリガイド

Windowsやアプリケーションが動作しなくなった場合に、本パソコンをご購入時の状態に戻す方法と、アプリケーションやドライバを再インストールする方法について説明しています。必要なときにお読みください。
この作業には、別売のCD-ROM ドライブが必要です。

FMV-BIBLO

~パソコンをふりだしにもどす本~



パソコンをご購入時 の状態に戻す

アプリケーション を再インストールする

ドライバ を再インストールする

FUJITSU

本書の表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

下の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と一緒に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味



示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵(左の例の場合はけが注意)が示されています。

その他の記号について

| | |
|--------------|---|
| 重要 | お使いになると注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
| 確認 | 操作する前に確認していただきたいことを記述しています。必ずお読みください。 |
| アドバイス | 操作に関するなどを記述しています。必要に応じてお読みください。 |
| ◆▶ | ご覧になっていただきたいマニュアルや、参照先を記述しています。 |

画面例および入力例

- 掲載している画面とイラストは開発中のものです。実際と異なる場合があります。
また、お使いのモデルによって画面が若干異なる場合があります。
- お客様に入力していただく文字列(コマンドライン)などは、入力例の文字上に■をかけて表しています。
- 特に指定がない場合、英数字、記号は半角で入力します。また、大文字と小文字の区別はありません。
- 入力時に空白を入れる必要がある場合は、以下のように表しています。
dir c:
この場合は、「dir」と入力したあとに■を1回押し、続けて「c:」と入力してください。
- 掲載している画面例は、2000年1月現在のものです。

製品の呼びかたについて

製品名称を、次のように略して表記しています。

| 製品名称 | 本書での表記 |
|--|-----------------------|
| Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION | Windows98 または Windows |
| Microsoft 社製 IntelliMouse™ | インテリマウス |
| 10 円メールマスター Ver.2 | 10 円メールマスター |
| Intellisync® for Notebooks | Intellisync |
| VirusScan for Windows 95/98 | VirusScan |
| AOL5.0 for Windows | AOL |
| FMV オンラインユーザー登録 V2.1 L10 | FMVオンラインユーザー登録 |
| 翻訳サーフィン（ホームページ翻訳）V6.0 | 翻訳サーフィン |
| ODN オンライン登録ソフトウェア | ODN |
| Real Player™ | Real Player G2 |
| 学研統合辞書 | 学研辞書 |
| 乗換案内時刻表対応版 | 乗換案内 |
| 柿木将棋 Light | 柿木将棋 |
| DION かんたんインターネット 2.0 | DION |
| Jet-Audio Player | Jet-Audio |
| Adobe® Acrobat® Reader 4.0 | Acrobat Reader |
| ゼンリン電子地図帳 Z[zi:] for FUJITSU | ゼンリン電子地図帳 Z |

機種名の表記について

FMV-BIBLO MC3/45 を、本パソコンと表記しています。

目 次

本書の表記について

第1章 パソコンをご購入時の状態に戻す(リカバリ)

パソコンが正しく動作せず回復の見込みがない場合などに、本パソコンをご購入時の状態に戻す(リカバリ)方法について説明しています。

| | | |
|----|--------------------------------------|----|
| 1. | リカバリについて | 2 |
| | リカバリとは | 2 |
| | リカバリが必要になるのは | 2 |
| 2. | リカバリの準備をする | 3 |
| | 必要なものを用意する | 3 |
| | ファイルをバックアップする | 3 |
| | リカバリを実行する前に | 8 |
| 3. | リカバリに必要な設定をする | 9 |
| | FMV-NCD402/403 の設定をする | 10 |
| | その他の CD-ROM ドライブの設定をする | 11 |
| 4. | リカバリを実行する | 16 |
| | 「リカバリ CD-ROM」を実行する | 16 |
| | Windows98 のセットアップをする | 19 |
| 5. | リカバリ実行後に行うこと | 20 |
| | 親指シフトキーボードモデルをお使いの方へ | 20 |
| 6. | その他のアプリケーションのインストール | 30 |
| | ゼンリン電子地図帳 Z のインストール | 30 |
| | 「ゼンリン電子地図 Z」の仮想 CD-ROM を作成する | 32 |
| | 仮想 CD-ROM を仮想 CD-ROM ドライブに挿入する | 34 |
| 7. | バックアップしたデータを復元する | 36 |
| | バックアップしたデータを復元する | 36 |
| | その他の作業 | 39 |

第2章 アプリケーションを再インストールする

ご購入時にインストールされていたアプリケーションを、改めてインストールする方法について説明しています。

| | | |
|----|-------------------------------------|----|
| 1. | アプリケーションを再インストールする前に | 42 |
| | 再インストールが必要になるのは | 42 |
| | 必要なものを用意する | 42 |
| | 再インストールについての注意事項 | 43 |
| | アプリケーションを削除する | 44 |
| 2. | アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた | 46 |
| 3. | アプリケーション・セットアップ・ランチャーで再インストールする ... | 47 |
| | 再インストールできるアプリケーション | 47 |
| | インストール後に行うこと | 49 |

第3章 ドライバを再インストールする

画面の表示がおかしくなったり、音が出なくなったりした場合に、ドライバをハードディスクにインストールする方法について説明しています。

| | | |
|----|-----------------------------|----|
| 1. | ドライバの再インストールをする前に | 52 |
| | 再インストールが必要になるのは | 52 |
| | 必要なものを用意する | 52 |
| | 再インストール時の注意事項 | 53 |
| 2. | ディスプレイドライバの再インストール | 54 |
| 3. | サウンドドライバの再インストールと設定 | 61 |
| | サウンドドライバを再インストールする | 61 |
| | 音量を調整するウィンドウの設定 | 63 |
| 4. | タッチパネルドライバの再インストール | 67 |
| | タッチパネルドライバを再インストールする | 67 |
| | タッチパネルドライバをアンインストールする | 69 |



パソコンをご購入時の状態に戻す (リカバリ)

パソコンをご購入時の状態に戻す方法について説明します。ここでの作業を終了すると、パソコンはご購入時の状態に戻ります。2章、3章の作業は必要ありません。

| | |
|------------------------|----|
| 1. リカバリについて | 2 |
| 2. リカバリの準備をする | 3 |
| 3. リカバリに必要な設定をする | 9 |
| 4. リカバリを実行する | 16 |
| 5. リカバリ実行後に行うこと | 20 |
| 6. その他のアプリケーションのインストール | 30 |
| 7. バックアップしたデータを復元する | 36 |

1

リカバリについて

リカバリとは

リカバリ (= Recovery) とは、本パソコンに添付の「リカバリ CD-ROM」を使って、ハードディスクの C ドライブをご購入時の状態に戻すことです。

初めにハードディスクをフォーマットし、その後、自動で Windows98 や各種ドライバとアプリケーションがインストールされます。そのため、ご購入後にお客様が作成したファイルや追加したアプリケーション(その設定情報なども含みます)は、消えてしまいます。お客様が作成したファイルは、必ずバックアップしてください。また、お客様がご購入後にインストールしたアプリケーションも、ご自身でインストールし直す必要があります。

本マニュアルでは、個々のアプリケーションやドライバのみをインストールすることを「再インストール」と呼び、「リカバリ」とは区別しています。「再インストール」については、「第2章 アプリケーションを再インストールする」(▶ P.41) と「第3章 ドライバを再インストールする」(▶ P.51) をご覧ください。

なお、添付のマニュアルやアプリケーションのヘルプなどで「ふりだしにもどす本」という記載がある場合は、このマニュアルを指しています。

リカバリが必要になるのは

- ・パソコンが正しく動作せず回復の見込みがない場合

Windows が起動せず、回復の見込みがない場合は、リカバリを行います。

また、本パソコンのソフトウェアやハードウェアの動作がおかしく、アプリケーションやドライバを再インストールしても解決できない場合も、リカバリを行います。

- ・C ドライブをフォーマットしてしまった場合

誤って C ドライブをフォーマットした場合は、リカバリが必要になります。

上記以外の場合でも、ご購入時の状態に戻したい、というときに行います。ただし、いろいろと注意しなければいけないことがあります。あくまでも困ったときの最終手段とお考えください。

2

リカバリの準備をする

必要なものを用意する

リカバリには次のものが必要です。作業を始める前に準備してください。

- ・作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」(フロッピーディスク)

重 要

必ず作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を使用してください

作成していない場合は、『本体＆オプションガイド』の「リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー」をご覧になり作成してください。

- ・「リカバリ CD-ROM 1/2、2/2」

- ・CD-ROM ドライブ（別売）

『本体＆オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」や CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧になり、あらかじめ接続と設定を行ってください。

⚠ 注意



けが CD-ROM をセットおよび取り出すときには、CD-ROM ドライブのトレーに指などを入れないでください。

けがの原因となることがあります。

ファイルをバックアップする

リカバリを行うと、ハードディスクのCドライブをフォーマットするため、Cドライブの内容がすべて消えてしまいます。必要なファイルは必ずご自身でバックアップしてください。また、バックアップしたファイルはリカバリ後、リカバリ前と同じ場所に戻す必要があります。そのため、リカバリ前のファイルの保存場所をメモするなどして忘れないようにしてください。

重 要

必要なファイルは普段からバックアップしてください

パソコンが動作しなくなると、ファイルのコピーができなくなります。万一の場合に備えて、必要なファイルは普段から、フロッピーディスクやD ドライブにコピーしておくことをお勧めします。

D ドライブのバックアップも必要になる場合

リカバリ前にハードディスクの領域を設定し直すと、D ドライブのファイルは消えてしまいます。D ドライブに必要なファイルがある場合は、フロッピーディスクに保存してください。

「FM かんたんバックアップ」を使ってバックアップする

本パソコンには、「FM かんたんバックアップ」というバックアップツールが用意されています。「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルなどのバックアップや復元が簡単にできます。

「FM かんたんバックアップ」には、次の 2 つの機能があります。

- ・「FM かんたんバックアップ / データ」
...データやメールのファイルをバックアップする
- ・「FM かんたんバックアップ / インターネット設定」
...インターネットの設定情報をバックアップする

重 要

格納先のフォルダ名は変更しないでください

バックアップ後に格納先のフォルダ名を変更すると、バックアップしたファイルを元の場所に戻せなくなります。

「FM かんたんバックアップ」でバックアップできない場合

次の場合は、ご自身でフロッピーディスクなどにコピーしてバックアップしてください。

- ・「アプリケーション名」に登録されていないアプリケーションで作成したファイルをバックアップする場合
- ・異なるバージョン間での Internet Explorer/Outlook Express の設定データをバックアップする場合
- ・「データ格納パス」と違う場所に保存されているファイルをバックアップする場合
- ・ハードディスク（外付けのハードディスクも含む）以外にバックアップする場合

■データやメールのファイルをバックアップする■

「FMかんたんバックアップ／データ」を使ってバックアップする方法を説明します。

- 1** 起動しているアプリケーションを終了します。
タスクバーに常駐しているアプリケーション（FM便利ツールなど）も、すべて終了してください。
- 2** 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「FMかんたんバックアップ」「データ」の順にマウスポインタを合わせ、「FM かんたんバックアップ／データ」をクリックします。
「FM かんたんバックアップ／データ」のウィンドウが表示されます。
- 3** 「バックアップ」タブをクリックします。
- 4** 「バックアップデータ格納先」が「D:¥FM_BACKUP」になっていることを確認します。
- 5** バックアップしたいデータのあるアプリケーション名をクリックしてにし、「バックアップ開始」をクリックします。



データのコピーが始まります。

重要

コピーの開始後は、「FM かんたんバックアップ／データ」ウィンドウの「復元」タブや「バックアップ」タブをクリックして表示を切り替えないでください。表示を切り替えると正常にコピーされないことがあります。

アドバイス

「バックアップを続けますか？」というメッセージが表示された場合

すでにバックアップデータが存在する場合、表示されます。「はい」をクリックしてください。

アドバイス

「……のデータ格納パスにデータが存在しません。」と表示された場合

「……」にはアプリケーション名が表示されます。

そのアプリケーションを一度も使用していない場合、表示されることがあります。この場合は、「OK」をクリックしてください。

6 「バックアップ処理を終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

8 「設定を保存して終了します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

このあと、バックアップファイルが正常に作成されているか、格納先を確認してください。

■ インターネットの設定情報をバックアップする ■

「FMかんたんバックアップ／インターネット設定」を使ってバックアップする方法を説明します。

1 起動しているアプリケーションを終了します。

タスクバーに常駐しているアプリケーション(FM便利ツールなど)もすべて終了してください。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FMかんたんバックアップ」、「インターネット設定」の順にマウスポインタを合わせ、「FMかんたんバックアップ／インターネット設定」をクリックします。

「FMかんたんバックアップ／インターネット設定のワンポイント」ウィンドウが表示されます。

3 内容を確認して「閉じる」をクリックします。

「FMかんたんバックアップ／インターネット設定」ウィンドウが表示されます。

4 「保存」タブをクリックします。

5 「保存の設定」が「D:\FM_BACKUP\FM_Resrg.FRS」になっていることを確認します。

- 6** 「保存する内容」で保存する設定情報を確認し、「設定を保存する」をクリックします。



- 7** 「保存開始」ウィンドウで保存項目を確認し、「OK」をクリックします。
データのコピーが始まります。しばらくすると、「保存結果」ウィンドウが表示されます。

- 8** 「OK」をクリックします。

- 9** 「FM かんたんバックアップ / インターネット設定」ウィンドウの右上にある
（閉じるボタン）をクリックします。

④ コピーしてバックアップする

「FM かんたんバックアップ」でバックアップできないファイルは、フロッピーディスクなどにコピーしてバックアップしてください。

リカバリを実行する前に

リカバリを実行する前に、必ず以下の作業を行ってください。

■必要な機器を接続する■

リカバリ作業は、通常よりも多くの電力を消費します。必ず本パソコンにACアダプタを接続した状態で行ってください。

また、コネクタボックスを接続し、フロッピーディスクドライブとCD-ROM ドライブを使用できる状態にしてください。

■必要な設定を記録する■

リカバリを行うと、各種アプリケーションで個人的に設定している値もすべて、設定前の状態に戻ります。

インターネットなど、再設定が必要になるものがあれば、設定値をあらかじめメモしておいてください。

■オプション機器を取り外す■

オプション機器が取り付けられていると、リカバリを正常に行えないことがあります。

リカバリに使用するフロッピーディスクユニットとCD-ROM ドライブとコネクタボックス以外のオプション機器は、すべて取り外してください。

■ハードディスクの領域の設定を確認する■

リカバリを実行するには、ハードディスクの基本 MS-DOS 領域が、FAT32 形式で 1700MB 以上あることが必要です。ハードディスクの領域を設定し直した場合など、正しく設定されているか確認してください。正しく設定されていない場合は、『本体 & オプションガイド』の「ハードディスクの領域を設定する」をご覧になり、設定し直してください。

3

リカバリに必要な設定をする

リカバリ作業で、CD-ROM ドライブを使えるようにするために、以下の設定をします。

機種ごとに設定する内容

CD-ROM ドライブの機種によって、必要な設定が異なります。機種ごとの設定内容は、次のとおりです。

弊社製「FMV-NCD402/403」の場合（ \Rightarrow P.10）

リカバリに使用する CD-ROM ドライブの機種を「FMV-NCD402/403」に設定します。

弊社製「FMV-NCD402/403」以外の CD-ROM ドライブの場合（ \Rightarrow P.11）

リカバリに使用する CD-ROM ドライブの機種を「CD-ROM ドライブユニット（その他）」に設定します。

使用する機種の PC カードと CD-ROM ドライブのドライバを、作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」にコピーします。

作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」にある「config.sys」を変更します。

アドバイス

フロッピーディスクを設定し終えたら

設定したフロッピーディスクのコピーを作成してください。設定した作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が壊れると、再度設定する必要があります。

コピーの作成方法については、『本体 & オプションガイド』の「リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー」をご覧ください。

準備するもの

次のものを用意してください。

- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ 作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（フロッピーディスク）
まだ作業用を作成していない場合は、『本体 & オプションガイド』の「リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー」をご覧になり、作成してください。
- ・ CD-ROM ドライブのドライバ（フロッピーディスク）
- ・ Windows 上または MS-DOS 上で使用できるエディタソフト（弊社製「FMV-NCD402/403」以外のドライブの場合）
パソコンの状況に合わせて準備してください。詳しくは「config.sys」ファイルの変更（ \Rightarrow P.13）をご覧ください。

FMV-NCD402/403 の設定をする

弊社製 CD-ROM ドライブ「FMV-NCD402/403」でリカバリできるように設定します。

以下では、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の内容を書き換えます。必ず作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をご使用ください。

- 1 フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットし、MAINスイッチをONにします。
作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、書き込み可能な状態でセットしてください。
「Windows98 リカバリメニュー」画面が表示されます。
- 2 ①を押して「1. リカバリ環境変更」を選択します。
「リカバリ環境変更メニュー」画面が表示されます。
- 3 ②を押して「1.CD-ROM ドライブユニットFMV-NCD402/403へ変更」を選択します。
環境設定が変更され、「A:>」と表示されます。
- 4 作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をフロッピーディスクユニットから取り出し、MAINスイッチをOFFにします。
取り出したフロッピーディスクは、書き込み禁止の状態にしてください。

以上で設定作業は終了しました。

すぐにリカバリを行うときは、「リカバリを実行する」(▶ P.16)にお進みください。

その他の CD-ROM ドライブの設定をする

「FMV-NCD201」、「FMV-NCD401」や「FMV-NRW1」など、「FMV-NCD402/403」以外の CD-ROM ドライブを使ってリカバリできるように設定します。

以下では、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の内容を書き換えます。必ず作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を使用してください。

なお、ここでは CD-ROM ドライブに PC カードが添付されている製品について説明します。CD-ROM ドライブを SCSI カードと組み合わせて使用する場合は、次のアドバイスをご覧ください。

アドバイス

CD-ROM ドライブを SCSI カードと組み合わせて使用する場合

- ・ SCSI カードのドライバも、作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」にコピーする必要があります。
- ・ コピーが必要なファイルの名称は、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ・ 作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の「config.sys」ファイルに、コピーしたドライバの記述を書き込んでください。詳細は、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。

■ CD-ROM ドライブの機種を設定 ■

1 フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットし、MAIN スイッチを ON にします。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、書き込み可能な状態でセットしてください。

「Windows98 リカバリメニュー」画面が表示されます。

2 ①を押して「1. リカバリ環境変更」を選びます。

「リカバリ環境変更メニュー」画面が表示されます。

3 ②を押して「2. その他の CD-ROM ドライブユニットへ変更」を選びます。
環境設定が変更され、「A:>」と表示されます。

■ ドライバのコピー ■

あらかじめCD-ROM ドライブのマニュアルをご覧になり、PCカードのドライバ名と CD-ROM ドライブのドライバ名を確認してください。

4 ご使用の PC カードのドライバをコピーします。

「A:>」に続けて次のように入力し [Enter] を押します。

copy b:xxxxxxxxx.xxx a:>

xxxxxxxxx.xxx には、ご使用の PC カードのドライバ名を入力します。

- ・弊社製「FMV-NCD201」の場合は以下のようになります。

copy b:>aspifmgr.sys a:>

- ・弊社製「FMV-NCD401」の場合は以下のようになります。

copy b:>dos\atamgr.sys a:>

- ・弊社製「FMV-NRW1」の場合は以下のようになります。

copy b:>dos\kmasmgra.sys a:>

「copy」と「b:」の間など、文字の区切りには半角スペースを入力してください。

5 画面のメッセージに従って、フロッピーディスクを差し替えます。

「Insert diskette for drive B:.....」と表示されたら、ご使用の CD-ROM ドライブに添付のフロッピーディスクを書き込み禁止の状態にしてセットし、[Enter] を押します。

「Insert diskette for drive A:.....」と表示されたら、作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットし、[Enter] を押します。

コピーが終了すると「A:>」と表示されます。

6 弊社製「FMV-NCD201」または「FMV-NCD401」をご使用の場合は必要ありません。手順 7へ進んでください。

弊社製「FMV-NRW1」をご使用の場合、もう 1 つ PC カードのドライバをコピーします。

「A:>」に続けて次のように入力し [Enter] を押します。

copy b:>dos\kmasaspa.sys a:>

手順 5 と同様にフロッピーディスクを差し替えてください。

コピーが終了すると「A:>」と表示されます。

7

ご使用の CD-ROM ドライブのドライバをコピーします。

「A:>」に続けて次のように入力し **[Enter]** を押します。

```
copy b:xxxxxxxxx.xxx a:¥
```

xxxxxxxxx.xxx には、ご使用の CD-ROM ドライブのドライバ名を入力します。

- ・弊社製「FMV-NCD201」の場合は以下のようにになります。

```
copy b:¥kmeecd.sys a:¥
```

- ・弊社製「FMV-NCD401」の場合は以下のようにになります。

```
copy b:¥dos¥kmeatacd.sys a:¥
```

- ・弊社製「FMV-NRW1」の場合は以下のようにになります。

```
copy b:¥dos¥kmascda.sys a:¥
```

手順 5 と同様にフロッピーディスクを差し替えてください。

コピーが終了すると「A:>」と表示されます。

■「config.sys」ファイルの変更■

8

作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」にある「config.sys」ファイルのドライバの記述を変更します。

- ・「FMV-NCD201」「FMV-NCD401」の場合は、「config.sys」ファイルの最後の 2 行を書き換えます。書き換える部分は、正確に半角で入力してください。
- ・「FMV-NRW1」の場合は、「config.sys」ファイルの最後の 2 行を書き換えて、そのあとに 1 行追加します。書き換える部分は、正確に半角で入力してください。

「DEVICE=xxxxxxxxx.xxx」

▶ ご使用の PC カードのドライバ名に変更します。

- ・弊社製「FMV-NCD201」の場合

「DEVICE=aspifmgr.sys」と書き換えます。

- ・弊社製「FMV-NCD401」の場合

「DEVICE=atamgr.sys」と書き換えます。

- ・弊社製「FMV-NRW1」の場合

「DEVICE=kmasmgra.sys port=300」と書き換えて行末で **[Enter]** を押し、空行をつくります。そこに「DEVICE=kmsaspa.sys」と入力します。

「DEVICE=xxxxxxxxx.xxx /D:OEMCD001」

▶ ご使用の CD-ROM ドライブのドライバ名に変更します。

- ・弊社製「FMV-NCD201」の場合

「DEVICE=kmeecd.sys /D:OEMCD001」と書き換えます。

- ・弊社製「FMV-NCD401」の場合

「DEVICE=kmeatacd.sys /D:OEMCD001」と書き換えます。

- ・弊社製「FMV-NRW1」の場合

「DEVICE=kmascda.sys /D:OEMCD001」と書き換えます。

「/D:OEMCD001」は正確に半角で入力してください。

この「config.sys」ファイルの変更手順は、Windows が起動できるかによって異なります。

・Windows を起動できる場合

- 1 作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をフロッピーディスクユニットから取り出し、**[Ctrl]** と **[Alt]** を押しながら **[Del]** を押して Windows を起動します。
- 2 スタートメニューのプログラムのアクセサリにある「メモ帳」などを使って、「config.sys」ファイルの記述を上記のように変更し、作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に書き込みます。
- 3 変更が終了したら、手順 9 に進んでください。

・Windows を起動できない場合

- 1 MS-DOS 上で使用できるエディタソフトの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクユニットにセットし、エディタソフトを起動します。
(Windows98 起動ディスクを作成している場合は、edit.exe があります)。
- 2 作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をフロッピーディスクユニットにセットし、「config.sys」ファイルの記述を上記のように変更し、作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に書き込みます。
- 3 変更が終了したら、手順 9 に進んでください。

アドバイス

パラメータが必要な場合

ご使用の CD-ROM ドライブによっては、ドライバ名のあとに、働き方を指示する設定(パラメータなどと呼ばれる)が必要な場合があります。詳しくは CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧ください。

■ 設定の確認 ■

設定が完了した作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」で CD-ROM ドライブが使用できるか確認します。CD-ROM ドライブには、Z ドライブが割り当てられます。

9 本パソコンの MAIN スイッチを OFF にし、AC アダプタを取り外します。

10 弊社製「FMV-NRW1」をご使用の場合は、PC カードのモード切替スイッチを「16bit」に設定します。
「FMV-NCD20」または「FMV-NCD401」の場合は必要ありません。
この他の CD-ROM ドライブによっては、同様の設定が必要な場合があります。詳しくは CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧ください。

11 CD-ROM ドライブをパソコン本体に接続します。

接続については、CD-ROM ドライブのマニュアルと『本体 & オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」をご覧ください。

- 12** AC アダプタをパソコン本体に接続し、CD-ROM ドライブの電源スイッチを ON にします。
- 13** フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットし、本パソコンの MAIN スイッチを ON にします。
「Windows98 リカバリメニュー」画面が表示されます。
- 14** ⑤を押して「5. 終了」を選びます。
「A:¥>」と表示されます。
- 15** CD-ROM をセットします。
ここではセットした CD-ROM の内容が表示できるか試します。適当な CD-ROM をセットしてください。
- 16** 「A:¥>」に続けて次のように入力し **[Enter]** を押します。
dir z:
CD-ROM ドライブにセットした CD-ROM の中身が表示されれば、正しく設定が行われています。
表示されないときは、以下の点を確認して設定をやり直してください。
 - ・ 必要なドライバのファイルを正しくコピーできたか、CD-ROM ドライブのマニュアルで確認します。
 - ・ config.sys ファイルの内容が正しく変更されているか、エディタソフトなどで確認します。
- 17** 正しく設定ができていれば、作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を フロッピーディスクユニットから取り出します。
取り出したフロッピーディスクは、書き込み禁止の状態にしてください。
- 18** CD-ROM を取り出し、MAIN スイッチを OFF にします。
- 19** CD-ROM ドライブの電源スイッチを OFF にし、PC カードを取り出します。

以上で設定作業は終了しました。

すぐにリカバリを行うときは、「リカバリを実行する」(▶ P.16)にお進みください。

4

リカバリを実行する

「リカバリ CD-ROM」を使って、ハードディスクの中身を復元します。最後に Windows のセットアップを行います。

リカバリを実行する前に、CD-ROM ドライブを使用できるようにする設定を行う必要があります。「リカバリに必要な設定をする」(▶ P.9)を行ってから、以下の操作を行ってください。

重要

ファイルはバックアップしましたか

「リカバリ CD-ROM」を実行すると、C ドライブの内容はすべて消えてしまいます。大切なファイルなどをバックアップしたか、再度確認してください。

「リカバリ CD-ROM」は必ず添付のものをお使いください

「リカバリ CD-ROM」は、必ず本パソコンに添付されているものを使用してください。

BIOS のパスワードは解除してください

BIOS セットアップでパスワードを設定していると、リカバリや BIOS の初期化を行えません。あらかじめパスワードを解除してください。

「リカバリ CD-ROM」を実行する

「リカバリ CD-ROM」を実行し、パソコンをご購入時の状態に戻します。

「リカバリ CD-ROM」の実行にかかる時間は、お使いの CD-ROM ドライブによって異なりますが、10 倍速のもので約 2 時間 30 分です。

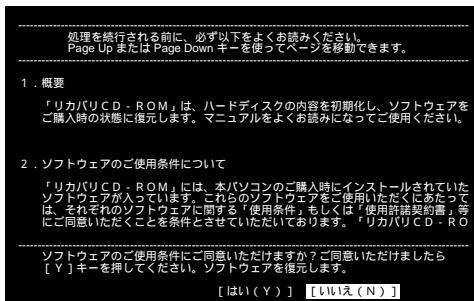
必ず「リカバリの準備をする」(▶ P.3) の作業を行ってから、以下の操作を行ってください。

1 CD-ROM ドライブをパソコン本体に接続します。

CD-ROM ドライブの接続については、CD-ROM ドライブのマニュアルと『本体 & オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」をご覧ください。

2 フロッピーディスクユニットと AC アダプタをパソコン本体に接続します。

- 3** CD-ROM ドライブの電源スイッチを ON にし、「リカバリ CD-ROM 1 / 2」をセットします。
- 4** フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットし、本パソコンの MAIN スイッチを ON にします。
「Windows98 リカバリメニュー」が表示されます。
- 5** BIOS の設定を変更している場合は、⑨を押して「2. BIOS の初期化」を選びます。
初期化が行われ、自動的に再起動されます。しばらくすると、再び「Windows98 リカバリメニュー」が表示されます。
- 6** ⑨を押して「3. リカバリ CD-ROM の実行」を選びます。
「モデル選択メニュー」が表示されます。
- 7** お使いのモデル名左の番号の数字キーを押します。
「リカバリ CD-ROM」についての説明が表示されます。
- 8** ⑩を押して「ソフトウェアのご使用条件について」をよくお読みください。
- 9** 内容に同意していただいた場合は、⑪を押して「はい」を選びます。



重 要

ソフトウェアのご使用条件について

それぞれのソフトウェアのご使用条件に同意していただけない場合は、パソコンの電源を切ってください。この場合、ハードディスクの内容は復元されません。

10

[Enter]を押します。

ハードディスク（C ドライブ）のフォーマットが始まります。

しばらくすると、「リカバリ CD-ROM 1/2」をセットするようにメッセージが表示されます。

CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM 1/2」をセットし。
しばらくしたら「Y」キーを押してください。
中断するなら「N」キーを押してください。

アドバイス

エラーメッセージが表示された場合は

「ソフトウェアの復元が中止されました。」と表示された場合は、以下のように対処してください。

- ・ オプション機器を取り付けている場合
フロッピーディスクユニットと CD-ROM ドライブとコネクタポックス以外のオプション機器は、すべて取り外してください。
- ・ ハードディスクの領域を変更している場合
「ハードディスクの領域の設定を確認する」（ $\cdots \blacktriangleright$ P.8）をご覧ください。
- ・ ハードディスクが壊れている場合
Save To Disk 領域や基本 MS-DOS 領域の設定が必要です。
『本体 & オプションガイド』の「ハードディスクの領域を設定する」の操作を行ってください。

11

[Y]を押します。

リカバリの作業が開始されます。

```
<File>C:\IO.SYS
<File>C:\BOOTLOG.TXT
<File>C:\COMMAND.COM
<File>C:\AUTOEXEC.BAT
<File>C:\CONFIG.SYS
<File>C:\XPPOST.BAT
<File>C:\PRECLEAN.EXE
<File>C:\VLOGO.SYS
<Dir>C:\PISETUP
<Dir>C:\WINDOWS
```

「リカバリ CD-ROM 2/2」をセットするようにメッセージが表示されます。

12

「リカバリ CD-ROM 2/2」をセットし、を押します。

作業が終了すると、「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」というメッセージが表示されます。

重要**メッセージが表示されない場合**

省電力機能が働いている可能性があります。次のことを確認してください。

- ・ 状態表示 LCD に①が点灯している場合
画面のバックライトが消えて、節電状態になっています。次のどれかのキーを押してください。
、   
 - ・ 状態表示 LCD に①が点滅している場合
サスPEND機能が働いて一時停止状態になっています。
SUS/RES スイッチを押してください。
- それでも解決しない場合は、オプション機器が取り付けられたままになっているか確認し、手順 1 ( P.16) からやり直してください。

13

「リカバリ CD-ROM 2/2」を CD-ROM ドライブから取り出します。

14

パソコン本体から、CD-ROM ドライブに接続している PC カードを取り外します。

15

作業用の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を、フロッピーディスクユニットから取り出します。

16

とを押しながら、を押します。

パソコンが再起動されます。

パソコンを再起動すると、ご購入後初めて電源を入れたときのようにWindows98のセットアップが始まります。

Windows98 のセットアップをする

Windows98のセットアップを行います。セットアップの最後で、必ず  はじめよう！ FMV) をクリックしてください。

操作手順は、『本体 & オプションガイド』の「第1章 最初に行う作業」をご覧ください。

5

リカバリ実行後に行うこと

バックアップしたファイルを復元するなど、ハードディスクの内容をリカバリ前の環境に近づけます。

- ・親指シフトキーボードモデルをお使いの方は、「親指シフトキーボードモデルをお使いの方へ」(▶ P.20) から行ってください。
- ・それ以外のモデルをお使いの方は「その他のアプリケーションのインストール」(▶ P.30) から行ってください。

親指シフトキーボードモデルをお使いの方へ

OASYS は「リカバリ CD-ROM」からは復元されません。専用の CD-ROM から、別途インストールする必要があります。

OASYS のインストール

確認

CD-ROM ドライブは接続されていますか？

CD-ROM からアプリケーションをインストールするときには、CD-ROM ドライブ(別売)を接続する必要があります。『本体 & オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」や CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧になり、あらかじめ接続と設定をしておいてください。

「OASYS プログラムディスク」の CD-ROM を用意してください。

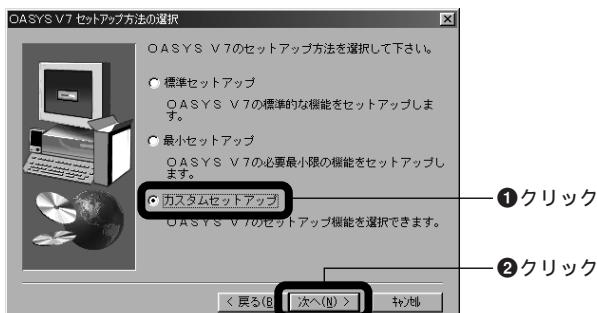
- 1 CD-ROM ドライブに「OASYS プログラムディスク」をセットします。
「OASYS V7 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「次へ」をクリックします。

3 「名前」、「会社名」を確認し、「次へ」をクリックします。



このあとは、「OASYS」の設定を行います。以降の手順では、ご購入時と同じ状態になるように設定しています。

4 「カスタムセットアップ」をクリックし、「次へ」をクリックします。



「OASYS V7 カスタムセットアップ」ウィンドウが表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

6 「Windows標準操作」の左がになっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

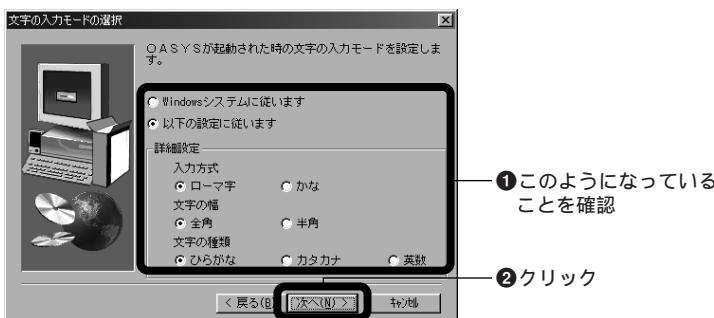
「セットアップフォルダの設定」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

「キーボードタイプの選択」ウィンドウが表示されます。

- 8** 「106/109日本語キーボード」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
「文字の入力モードの選択」ウィンドウが表示されます。

- 9** 下の画面のように設定されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

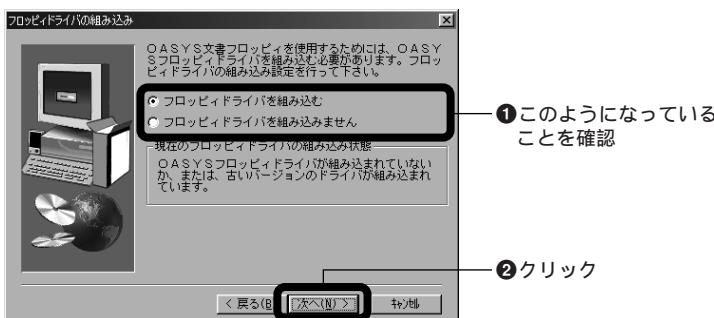


「書類作成の指定」ウィンドウが表示されます。

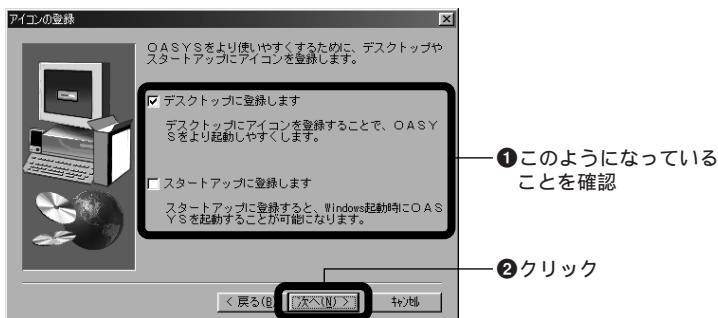
- 10** 「書類を作成します」の左がになっていることを確認し、「次へ」をクリックします。
「書類フォルダの設定」ウィンドウが表示されます。

- 11** 「次へ」をクリックします。

- 12** 「フロッピィドライバを組み込む」の左がになっていることを確認し、「次へ」をクリックします。



- 13** 「デスクトップに登録します」の左のみになっていることを確認し、「次へ」をクリックします。



「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

- 14** 「次へ」をクリックします。
「OAKの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

このあとは、「OAK」の設定を行います。以降の手順では、ご購入時と同じ状態になるように設定しています。

- 15** 「次へ」をクリックします。
「オプションフォントの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

- 16** 「次へ」をクリックします。
「OASYS CDView の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

- 17** 「次へ」をクリックします。
「セットアップの確認」ウィンドウが表示されます。

- 18** 「次へ」をクリックします。
「OASYS V7 セットアップ」ウィンドウが表示され、ファイルのコピーが始まります。
しばらくすると「OASYS V7 セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

- 19** 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」の左がになっていることを確認し、「完了」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。

20 デスクトップにある (OASYS ビューア) のショートカットアイコンを (ごみ箱) にドラッグします。

21 「OASYS プログラムディスク」を CD-ROM ドライブから取り出します。

OASYS のアップデート

OASYS プログラムのデータを追加インストールします。

「OASYS V7.0 アップデートパック」の CD-ROM を用意してください。

1 CD-ROM ドライブに「OASYS V7.0 アップデートパック」をセットします。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

3 「名前」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

e:\\$update.exe

「OASYS : アップデートインストール」ウィンドウが表示されます。

4 すべての項目がになっていることを確認し、「開始」をクリックします。
「アップデート処理を開始します」というメッセージが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。アップデートが正しく終了すると、「アップデートした製品を有効とするため Windows を再起動してください」というメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリックします。

OAK のアップデート

OAK V7 のアップデート修正をします。

OAK 以外を標準の言語に設定します。

- 1** 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2**  キーボード) をクリックします。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「言語」タブをクリックします。
- 4** 「Microsoft IME 98」をクリックして、「既定値として設定」をクリックし、「OK」をクリックします。
- 5** 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある  (閉じるボタン) をクリックします。
設定を有効にするため、パソコンを再起動します。
- 6** 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
- 7** 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
パソコンが再起動されます。

OAK のデータをアップデートします。

- 8** 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。
- 9** 「名前」に次のファイル名を入力して、「OK」をクリックします。
`e:\OAK\update.exe`
「OAK : アップデートインストール」ウィンドウが表示されます。

- 10** 「開始」をクリックします。
「アップデート処理を開始します」というメッセージが表示されます。
- 11** 「はい」をクリックします。
「アップデートインストールが終了しました」というメッセージが表示されます。
- 12** 「OK」をクリックします。
- 13** 「OASYS V7.0 アップデートパック」の CD-ROM を取り出します。
- OAK を標準の言語に設定します。
- 14** 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 15**  (キーボード) をクリックします。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 16** 「言語」タブをクリックします。
- 17** 「OAK V7.0」をクリックして、「既定値として設定」をクリックし、「OK」をクリックします。
- 18** 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある  (閉じるボタン) をクリックします。
設定を有効にするため、パソコンを再起動します。
- 19** 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
- 20** 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
パソコンが再起動されます。

OASYS ドライバのインストール

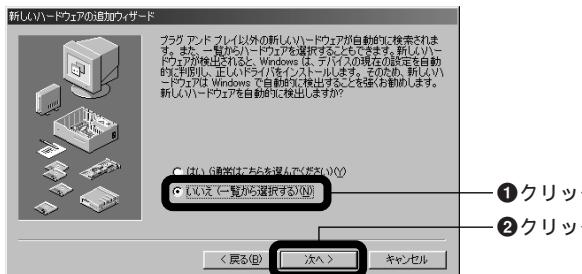
ワープロ専用機のフロッピーディスクを使用するためのドライバをインストールします。

- 1** 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2**  (ハードウェアの追加) をクリックします。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「次へ」をクリックします。
プラグアンドプレイ機器を検索するウィンドウが表示されます。
- 4** 「次へ」をクリックします。

アドバイス

「インストールするデバイスは一覧にありますか？」と表示された場合
「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。

- 5** 「いいえ」をクリックし、「次へ」をクリックします。



①クリック

②クリック

- 6** ▲▼をクリックし、「ハードウェアの種類」の一覧をスクロールし、「フロッピーディスクコントローラ」をクリックして、「次へ」をクリックします。



②クリック

①「フロッピーディスクコントローラ」が表示されるまで▲▼をクリック

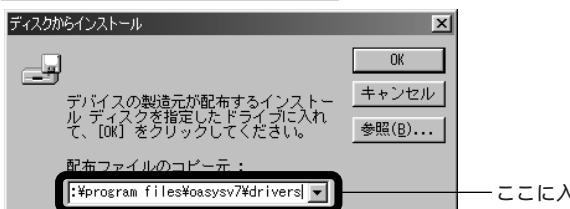
③クリック

ハードウェアの製造元とモデルを設定するウィンドウが表示されます。

- 7** 「ディスク使用」をクリックします。

- 8** 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力します。

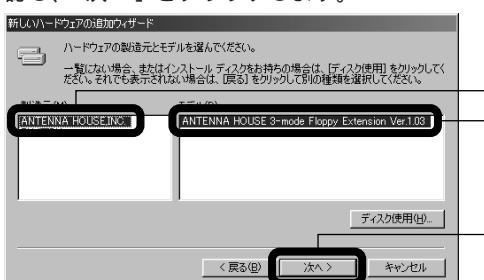
c:\\$program files\\$oasysv7\\$drivers



ここに入力

- 9** 「OK」をクリックします。

- 10** 製造元に「ANTENNA HOUSE,INC.」、モデルに「ANTENNA HOUSE 3-mode Floppy Extension Ver.1.03」がそれぞれ選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



①確認

②確認

③クリック

「ハードウェアのインストールを正常に続行します。」というメッセージが表示されます。

- 11** 「完了」をクリックします。
「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。
- 12** 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。
- 13** 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある  (閉じるボタン) をクリックします。

親指シフトキー ボードの設定

本パソコンのキーボードを、親指シフトキー ボードとして使うための設定をします。

- 1** 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。
- 2** 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
「ファイル名を指定して実行」 ウィンドウが表示されます。
- 3** 「名前」の右の欄に `e:\$kbinst\$setup.exe` と入力し、「OK」をクリックします。（「e:」には、お客様がお使いの CD-ROM ドライブ名を入力してください）
「ようこそ」 ウィンドウが表示されます。
- 4** 「次へ」をクリックします。
「セットアップタイプ」 ウィンドウが表示されます。
- 5** 「次へ」をクリックします。
ドライバがインストールされ、「セットアップの完了」 ウィンドウが表示されます。
- 6** 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が になっていることを確認し、「完了」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。
- 7** 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブから取り出します。

6

その他のアプリケーションのインストール

ここは「リカバリ実行後に行うこと」の続きになっています。

ゼンリン電子地図帳Zのインストール

「ゼンリン電子地図帳Z」は「リカバリ CD-ROM」から復元されません。
ご自身でインストールしてください。

アドバイス

目的のウィンドウが表示されない場合

インストール中、表示されるはずのウィンドウが前のウィンドウに隠れてしまい、表示されない場合があります。その場合、「電子地図帳Z セットアップ」ウィンドウを最小化し、[Alt] を押しながら [Tab] を押してウィンドウを切り替えて、目的のウィンドウを前面に表示させてください。

「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU SYSTEM DISK」の CD-ROM を用意してください。

- 1 CD-ROM ドライブに「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU SYSTEM DISK」をセットします。
「電子地図帳Z セットアッププログラムへようこそ。」というメッセージが表示されます。
- 2 「次へ」をクリックします。
- 3 ご使用条件の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「はい」をクリックします。
- 4 「郵便番号」「都道府県」「住所」は入力せずに「次へ」をクリックします。
インストール先が表示されます。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 チェックマークがついていないことを確認して、「次へ」をクリックします。
プログラムフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

- 7** 「次へ」をクリックします。
インストールの設定を確認するウィンドウが表示されます。
- 8** 「次へ」をクリックします。
ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「電子地図帳Z オンラインユーザ登録インストール」ウィンドウが表示されます。
- アドバイス**
「読み取り専用ファイルの検出」 ウィンドウが表示された場合
 「はい」をクリックし、ファイルを上書きしてください。

- 9** 「次へ」をクリックします。
インストールが始まり、しばらくすると「PRES ブラウザ」ウィンドウが表示されます。
- 10** 「あとで登録する」をクリックします。
- 11** 「直ちにreadme.txtを参照します。」の左のをクリックしてにし、「完了」をクリックします。
「セットアップを終了します。」というメッセージが表示されます。
- 12** 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」の左がになっていることを確認し、「完了」をクリックします。
パソコンが再起動されます。
- 13** 「ゼンリン電子地図」ウィンドウの右上にある (閉じるボタン)をクリックします。
- 14** 「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU SYSTEM DISK」を取り出します。

続いて「「ゼンリン電子地図Z」」の仮想CD-ROMを作成する」(▶ P.32)を行ってください。

「ゼンリン電子地図Z」の仮想CD-ROMを作成する

「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK東日本」の仮想CD-ROM（VCDファイル）を作成します。

- 1 「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK東日本」をセットします。
「ゼンリン電子地図Z」が起動するので、ウィンドウの右上にある （閉じるボタン）をクリックして終了します。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「VirtualCD」の順にマウス ポインタを合わせ、「VirtualCD マネージャ」をクリックします。
「Virtual CD」ウィンドウが表示されます。
- 3 「OK」をクリックします。
「Virtual CD マネージャ」ウィンドウが表示されます。

- 4 「ファイル」メニューの「VCD ファイルの構築」をクリックします。
- 5 「VCDの説明」に「ゼンリン電子地図帳Z 地図DISK東日本」と入力し、「OK」をクリックします。



VCD の構築が始まり、C ドライブに、「EMZ2_V11.vcd」がコピーされます。

- 6 VCD ファイルの構築が終了したら、「OK」をクリックします。
- 7 「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK東日本」を取り出します。

続いて、「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK西日本」の仮想CD-ROM（VCDファイル）を作成します。

8 「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK西日本」をセットします。
 「ゼンリン電子地図Z」が起動するので、ウィンドウの右上にある[X]閉じるボタンをクリックして終了します。

9 「ファイル」メニューの「VCD ファイルの構築」をクリックします。

10 「VCDの説明」に「ゼンリン電子地図帳Z 地図DISK西日本」と入力し、「デフォルトVCD ドライブ」のボタンをクリックし、「Q:」をクリックします。



- ① 「ゼンリン電子地図帳Z
地図DISK西日本」と入力
② クリック

11 「OK」をクリックします。

VCD ファイルの構築が始まり、C ドライブに、「EMZ2_V12.vcd」がコピーされます。

12 VCD ファイルの構築が終了したら、「OK」をクリックします。

13 「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK西日本」を取り出します。

続いて「仮想CD-ROM を仮想CD-ROM ドライブに挿入する」(▶ P.34)を行ってください。

仮想 CD-ROM を仮想 CD-ROM ドライブに挿入する

作成した「ゼンリン電子地図帳Z」の仮想CD-ROM(VCDファイル)を仮想CD-ROMドライブに挿入します。

- 「VDrive」の (P:) と、「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK 東日本」がそれぞれ選択されていることを確認します。



- 〔Shift〕を押しながら、(揃入) をクリックします。
仮想 CD-ROM ドライブ (P) に仮想 CD-ROM 「ゼンリン電子地図帳 Z for FUJITSU 地図 DISK 東日本」が挿入されます。



アドバイス

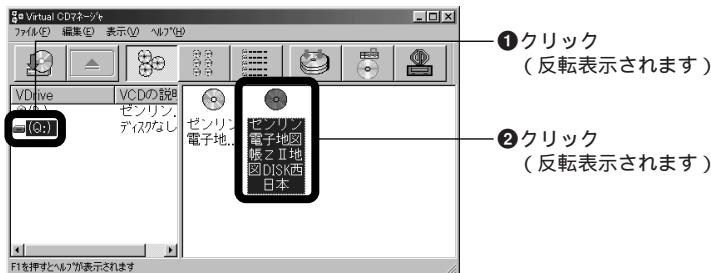
「ゼンリン電子地図Z」が起動してしまった場合

仮想CD-ROMを挿入する途中で〔Shift〕をはなすと、「ゼンリン電子地図Z」が起動してしまいます。

ウィンドウの右上にある (閉じるボタン) をクリックして、「ゼンリン電子地図Z」を終了させてください。

3

「VDrive」の (Q:) と、「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK 西日本」を選択して反転表示させます。

**4**

[Shift] を押しながら、 (挿入) をクリックします。

仮想 CD-ROM ドライブ (Q) に仮想 CD-ROM 「ゼンリン電子地図帳Z for FUJITSU 地図DISK 西日本」が挿入されます。

5

「Virtual CD マネージャ」ウィンドウの右上にある (閉じるボタン) をクリックします。

7

バックアップしたデータを復元する

バックアップしたデータを復元する

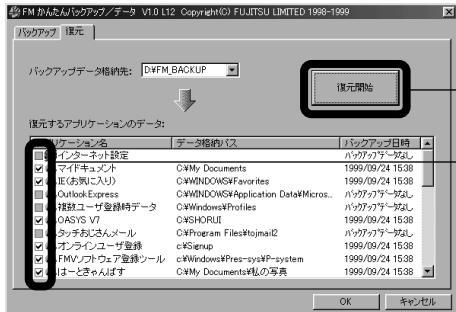
「FMかんたんバックアップ」でバックアップしたファイルを復元する

■データやメールのファイルを復元する■

「FMかんたんバックアップ／データ」でバックアップしたファイルを、元の場所に戻す方法を説明します。

この操作でインターネット設定の情報も復元することができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「FMかんたんバックアップ」「データ」の順にマウスボインタを合わせ、「FMかんたんバックアップ／データ」をクリックします。
「FMかんたんバックアップ／データ」のウィンドウが表示されます。
- 2 「復元」タブをクリックします。
- 3 「バックアップデータ格納先」が正しいか確認します。
- 4 復元するデータのあるアプリケーション名がになっていることを確認し、「復元開始」をクリックします。



②クリック

①クリック

「インターネット設定」の左がになっていると、「FMかんたんバックアップ／インターネット設定」でバックアップしたファイルも復元できます。

- 5** 「復元を続けますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
データのコピーが始まります。

重 要

コピーの開始後は、「FMかんたんバックアップ／データ」ウィンドウの「バックアップ」タブや「復元」タブをクリックして表示を切り替えないでください。表示を切り替えると正常にコピーされないことがあります。

- 6** 「復元処理を終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動され、復元が終了します。

アドバイス**データが復元されなかった場合**

- ・「バックアップデータ格納先」が間違って指定されている
　ドライブ名をバックアップの時と同じドライブに指定し直してください。
- ・ファイルがバックアップされていない
　バックアップに失敗した可能性があります。この場合、データを復元できません。

インターネットの設定情報のみを復元する

- 「FMかんたんバックアップ／インターネット設定」でバックアップしたファイルを、元の場所に戻す方法を説明します。
「FMかんたんバックアップ／データ」でインターネット設定の復元をした場合は必要ありません。

- 1** 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FMかんたんバックアップ」、「インターネット設定」の順にマウスポインタを合わせ、「FMかんたんバックアップ／インターネット設定」をクリックします。
「FMかんたんバックアップ／インターネット設定のワンポイント」ウィンドウが表示されます。
- 2** 内容を確認して「閉じる」をクリックします。
「FMかんたんバックアップ／インターネット設定」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「復元」タブをクリックします。

4 「保存されている項目を表示します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
「復元する内容」に復元できる項目が表示されます。

5 「復元する内容」で、復元する設定情報を確認し、「設定を復元する」をクリックします。



6 「復元開始」ウィンドウで復元項目を確認し、「OK」をクリックします。
データのコピーが始まります。しばらくすると、「復元結果」ウィンドウが表示されます。

7 「OK」をクリックします。

8 「設定の復元が終了しました。」とメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動され、復元が終了します。

コピーしてバックアップしたファイルを復元する

バックアップしたときと同じように、ファイルをリカバリ前と同じ場所にコピーします。このとき、違う場所にコピーするとファイルが使用できない場合がありますので、ご注意ください。

また、ご購入後にインストールしたアプリケーションのファイルを復元する場合は、先にアプリケーションをインストールしてから、ファイルをコピーしてください。

その他の作業

■ オプション機器を接続する ■

リカバリを行うためにPCカードやオプション機器を取り外していた方は、機器に添付のマニュアル、または『本体＆オプションガイド』の「第3章 オプション機器を使う」をご覧になり、接続し直してください。

■ アプリケーションをインストールする ■

ご購入後、お客様がインストールしていたアプリケーションは、再インストールする必要があります。

Dドライブにインストールしているアプリケーションでも、リカバリ後、設定情報が失われたために使用できなくなることがあります。その場合、アプリケーションを再インストールしてください。

インストール方法は各アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

■ インターネットに接続する ■

インターネットに接続していた方は、接続の設定をするだけで再びインターネットをご利用になれます。オンラインサインアップを行う必要はありません。

FMかんたんバックアップ／インターネット設定でバックアップと復元を行った場合は、接続の設定を行う必要がありません。⇒ P.36 「FMかんたんバックアップ」でバックアップしたファイルを復元する」



アプリケーションを再インストールする

ご購入時にインストールされていたアプリケーションを、ハードディスクに再インストールする方法について説明します。

「リカバリを実行する」(▶ P.16)を行った場合は、アプリケーションはすべてインストールされています。再インストールする必要はありません。

1. アプリケーションを再インストールする前に 42
2. アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた 46
3. アプリケーション・セットアップ・ランチャーで再インストールする 47

1

アプリケーションを再インストールする前に

正常にアプリケーションを再インストールするために、注意しなければならないことがあります。途中でインストールが中止されたり、インストール後に起動できなくなる場合があるので必ずお読みください。

再インストールが必要になるのは

次のような場合、アプリケーションの再インストールが必要になります。

■削除したアプリケーションをまた使いたい場合■

ご購入時にインストールされていたアプリケーションは、お使いの状況に合わせ、何度も削除したり、再インストールしたりして使うことができます。いったん削除したアプリケーションを、またご使用になるときは、アプリケーションを再インストールします。ただし、前回ご使用時のファイルや設定は、アプリケーションを削除したときに消去されている場合があるのでご注意ください。

■アプリケーションの動きがおかしい場合■

アプリケーションを使っていると、原因はわからないが動きがおかしい、ということがあります。そういう場合は、アプリケーションをいったん削除し、再インストールしてください。再インストールによって解決する場合があります。

必要なものを用意する

アプリケーションの再インストールには次のものが必要です。作業を始める前に準備してください。

- ・アプリケーション CD（添付）
- ・CD-ROM ドライブ（別売）

『本体＆オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」や CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧になり、あらかじめ接続と設定を行ってください。

⚠ 注意



けが CD-ROM をセットおよび取り出すときには、CD-ROM ドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

再インストールについての注意事項

ここでは、再インストールを行う前に確認していただきたいことや再インストール時の注意事項をまとめています。再インストールする前に、必ず以下の点を確認してください。

2

アプリケーションを再インストールする

■必要なデータや設定はバックアップする■

アプリケーションの再インストールを行うと、お客様ご自身で作られたファイルが消えてしまうことがあります。必要なファイルは、再インストールを行う前に、フロッピーディスクなどにバックアップしてください。

なお、アプリケーションによっては作成したファイルだけでなく、パソコン通信のIDや通信設定、接続先など、アプリケーション上の個人的な設定内容も消えてしまうので、必要な情報はメモしてください。

■ハードディスクの空き容量を確認する■

事前にハードディスクに十分な空き容量があることを確認してからインストールを行ってください。容量不足でインストールが途中で中止された場合、次にインストールするときにエラーメッセージが表示されることがあります。

■起動中のアプリケーションやウィンドウを終了する■

他のアプリケーションが起動している状態でインストールすると、インストールが正常に終了しない場合があります。起動しているアプリケーションや開いているウィンドウはすべて終了してください。VirusScanなど、タスクバーに常駐するタイプのアプリケーションも、終了させてください。

また、スクリーンセーバーを設定している場合は、「なし」に設定してから、インストールを始めてください。

■古いアプリケーションとアプリケーション関連のデータを削除する■

アプリケーションの再インストールを始める前に、ハードディスク内に残っているアプリケーションとアプリケーション関連のデータを削除することをお勧めします。上書きでインストールしようとすると「上書きしてよろしいですか」などのメッセージが表示されることがあります。また、アプリケーションのいくつかは古いデータが残っているとインストールが中止される場合があります。

本章では、ハードディスク内に古いデータが残っていない場合のインストール手順を基本としています。

■「バージョンの競合」が表示された場合は■

インストール中、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。その場合は、表示されたメッセージの内容をよくお読みになり、インストール元の媒体に入っているファイルがインストールされるように、「はい」または「いいえ」を選んでください。

■ セットアップ画面のまま操作できない場合は ■

インストール中、セットアップ画面でインストールとは関係のないウィンドウが表示され、操作できなくなる場合があります。その場合、**[Alt]** を押しながら **[Tab]** を押し、「セットアップが完了しました。」というメッセージを前面に表示させてください。

■ インストールは中断しないでください ■

ファイルのコピー中に「キャンセル」などをクリックすると、一部のファイルだけがコピーされて、アプリケーションが使えなくなる場合があります。ファイルのコピー中は、中断しないことをお勧めします。

アプリケーションを削除する

アプリケーションには、インストールするときに自動的にシステムの設定を変更するものがあり、単にプログラムのファイルを削除するだけでは、インストール前の状態に戻らないことがあります。

システムの設定などもインストール前の状態に戻すには、以下の方法でアプリケーションを削除してください。

重 要

ファイルのバックアップについて

アプリケーションを削除したとき、お客様が作成したファイルや設定した環境などのうち、そのアプリケーションに関連したものが消えてしまうことがあります。アプリケーションを削除する前に、必要なファイルはD ドライブやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

■ アンインストール機能を使う ■

アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合は、アンインストール機能を使用して削除します。

詳しくは、各アプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

■ 「アプリケーションの追加と削除」を使う ■

アンインストール機能がないアプリケーションは、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」を使用して削除します。

操作方法は次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 2 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 削除するアプリケーションを一覧の中からクリックします。

アドバイス

一覧に表示されないアプリケーションについて

一覧に表示されていないアプリケーションは、この方法で削除することはできません。
それぞれのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

- 4 「追加と削除」をクリックします。
このあとは画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
選択したアプリケーションが削除されます。

重要

共有ファイルについて

ファイルを削除している途中で、共有ファイルを削除するか確認するメッセージが表示される場合があります。

削除すると、他のアプリケーションが正しく動作しなくなる可能性があるので、共有ファイルは削除しないでください。

2

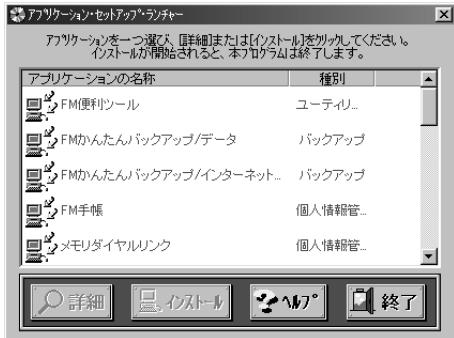
アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた

ご購入時にインストールされているアプリケーションは、添付の「アプリケーションCD」からアプリケーション・セットアップ・ランチャーを使用して再インストールします。

ここでは、アプリケーション・セットアップ・ランチャーの操作方法を説明します。

- 1 「アプリケーションCD」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。
- 3 「名前」の右の欄に `e:\aplsetup.exe` と入力し、「OK」をクリックします。
(「e:」には、お客様がお使いのCD-ROMドライブ名を入力してください)

「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」ウィンドウが表示されます。



- 4 「アプリケーションの名称」欄から、再インストールするアプリケーションの名称をクリックします。
- 5 「インストール」をクリックします。
アプリケーションのインストールが始まります。

以降の操作は、画面のメッセージに従って行ってください。

3

アプリケーション・セットアップ・ランチャーで再インストールする

2

再インストールできるアプリケーション

アプリケーション・セットアップ・ランチャーを使用して、再インストールできるアプリケーションは次のとおりです。アプリケーション・セットアップ・ランチャーの操作方法については、「アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた」(◆◆P.46)をご覧ください。

以下の「留意事項」欄をご覧になり、画面の表示に従ってインストールしてください。特に説明のない画面では「次へ」などをクリックし、最後に「終了」や「完了」、「OK」をクリックしてください。

なお、デスクトップやクイック起動などに、ご購入時にはなかったアプリケーションのアイコンが作成されることがあります。その場合は、ご自身で削除してください。

アプリケーションを再インストールする

| アプリケーションの名称 | 留意事項 |
|-----------------------|--|
| FM 便利ツール | 画面の表示に従ってください。 |
| FM 手帳 | 画面の表示に従ってください。 |
| メモリダイヤルリンク | 画面の表示に従ってください。 |
| はじめよう!インターネット(@nifty) | 「情報生活術入門」をご覧ください。 |
| AOL | 画面の表示に従ってください。 |
| 10円メールマスター | 画面の表示に従ってください。 |
| タッチおじさんメール | 画面の表示に従ってください。 |
| サンリオアクセサリー | インストール後、アナログ時計を表示するには、次の操作を行ってください。 1. 「スタートメニュー」から「プログラム」、「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」を選びます。 2. 「アナログ時計」にマウスポンタを合わせたまま、右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 3. プロパティウィンドウの作業フォルダに「C:\Program Files\Sanrio\AnalogClock」を入力し、「OK」をクリックします。 4. 「スタートメニュー」から「プログラム」、「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」を選び、表示されたアナログ時計をデスクトップ上にドラッグします。 |
| Hatch Inside | 画面の表示に従ってください。 |

| アプリケーションの名称 | 留意事項 |
|---------------------------|--|
| Intellisync | 画面の表示にしたがってください。「赤外線の設定」ウィンドウでは、次のように設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> 現在のデバイス「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」 IrComm ポートの選択「None」 IrLPT ポートの選択「None」 |
| VirusScan | 画面の表示に従ってください。 |
| FM かんたんバックアップ / データ | 画面の表示に従ってください。 |
| FM かんたん' カワウ' / インターネット設定 | 画面の表示に従ってください。 |
| FM Advisor | 画面の表示に従ってください。 |
| FMV 診断 | 画面の表示に従ってください。 |
| 省電力管理ユーティリティ (PMS98) | インストール後、次の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「PMS98」の順にマウスポインタを合わせ、「1.PMS98」をクリックします。 タスクバーにある  を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「インジケータ」タブをクリックし、「インジケータを表示する」が <input checked="" type="checkbox"/> になっていることを確認します。 「表示位置」の  をクリックして、「自由位置 [ドラッグして位置決め]」をクリックし、「OK」をクリックします。 インジケータをドラッグして、好きな位置に移動させます。 |
| 壁紙データ | 画面の表示に従ってください。 |
| らくらく写真館 | 画面の表示に従ってください。 |
| おしゃべりホームページ | 画面の表示に従ってください。 |
| らくらくメール BOX | 画面の表示に従ってください。 |
| FM キャプチャ | インストール後、次の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。 「名前」の右の欄に e:\fmcaptr\forstorefrontmodel\runme.bat と入力し「OK」をクリックします。 ('e:' にはお客様がお使いの CD-ROM ドライブ名を入力してください) 「FM キャプチャ プレインストール状態への設定プログラム」と表示されたら、 を押します。 「完了」ウィンドウの右上にある  (閉じるボタン) をクリックします。 |
| パーティグッズ:Facematch | 画面の表示に従ってください。 |
| はーときゃんばす | 「セットアップの完了」ウィンドウで「FM サンプルデータをインストールする」のチェックをはずしてください。 |

| アプリケーションの名称 | 留意事項 |
|----------------|----------------|
| FM モバイルスイッチャー | 画面の表示に従ってください。 |
| 翻訳サーフィン | 画面の表示に従ってください。 |
| ION | 画面の表示に従ってください。 |
| ODN | 画面の表示に従ってください。 |
| RealPlayer G2 | 画面の表示に従ってください。 |
| タッチおじさんメール | 画面の表示に従ってください。 |
| 学研辞書 | 画面の表示に従ってください。 |
| 乗換案内 | 画面の表示に従ってください。 |
| GAMEPACK2001 | 画面の表示に従ってください。 |
| 柿木将棋 | 画面の表示に従ってください。 |
| Jet-Audio | 画面の表示に従ってください。 |
| Acrobat Reader | 画面の表示に従ってください。 |

インストール後に行うこと

アプリケーションをインストールしたあとは、Windows98 のライブラリをアップデートする操作が必要です。『情報生活術入門』の「7章 アプリケーションを使う」の「インストール後に行うことが必要な操作」をご覧になり、ライブラリをアップデートしてください。

アドバイス

ショートカットについて

インストールするフォルダを従来のフォルダから変更すると、そのアプリケーションはショートカットから起動できなくなります。その場合、再度、ショートカットを作成し直すか、ショートカットのリンク先を変更後のフォルダ名に変更してください。



ドライバを再インストールする

ドライバはハードウェアを動かすために必要です。ここでは、ドライバを再インストールする方法について説明します。

「リカバリを実行する」(▶ P.16)を行った場合は、ドライバはすべてインストールされています。再インストールする必要はありません。

- | | | |
|----|---------------------------|----|
| 1. | ドライバの再インストールをする前に | 52 |
| 2. | ディスプレイドライバの再インストール | 54 |
| 3. | サウンドドライバの再インストールと設定 | 61 |
| 4. | タッチパネルドライバの再インストール | 67 |

1

ドライバの再インストールをする前に

ドライバを再インストールするため、注意しなければならないことを説明します。

再インストールが必要になるのは

ディスプレイドライバやサウンドドライバは、ゲームなどのインストールによって、破損したり書き替えられてしまうことがあります。画面が正しく表示されない場合はディスプレイドライバを再インストールし、音が正しく出ない場合はサウンドドライバを再インストールしてください。

タッチパネルドライバは、本パソコンのご使用状況によって、タッチパネルの機能に不具合が生じた場合に、再インストールを行います。

必要なものを用意する

- ・アプリケーションCD（添付）
 - ・CD-ROMドライブ（別売）
- 『本体＆オプションガイド』の「CD-ROMドライブを使う」やCD-ROMドライブのマニュアルをご覧になり、あらかじめ接続と設定を行っておいてください。

△ 注意



CD-ROMをセットおよび取り出すときには、CD-ROMドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

再インストール時の注意事項

正常にインストールを行うために、以下の点に注意してください。

■起動中のアプリケーションやウィンドウを終了する■

フルダウンドウなど、開いているウィンドウや、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。VirusScanなど、タスクバーに常駐するタイプのアプリケーションも終了させてください。スクリーンセーバーを設定している場合は、「なし」に設定してください。

また、操作中、何度もパソコンが再起動されるので、スタートアップに登録されているアプリケーションは、そのつど終了させる必要があります。

■「バージョンの競合」ウィンドウが表示されたら■

インストール中に、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。その場合は、「いいえ」をクリックし、アプリケーションCDに入っているファイルを使用してください。

2

ディスプレイドライバの再インストール

ここでは、ディスプレイドライバのインストール方法について説明します。お使いの状況に合わせ、正しくインストールを行ってください。

必ず、「ドライバの再インストールをする前に」(▶ P.52)をご覧になってから、以下の操作を行ってください。

- ・ Windows が起動しない場合は、手順 1 (▶ P.54) から行ってください。
- ・ Windows が起動している場合は、手順 1 (▶ P.57) から行ってください。

Safe モードで Windows を起動する

電源を入れても Windows が起動しない場合、Safe モードで Windows をいったん起動します。

アドバイス

Safe モードとは

Windows を必要最低限の状態で起動する方法です。画面の表示に問題が起きた場合などに、一時的に使用します。

クリックポイント で操作してください

以下の操作をタッチパネルで行うと、タッチした位置とマウスポインタの位置がずれてしまします。ディスプレイドライバの再インストールは、クリックポイント で行ってください。

1 キーボードの [Ctrl] の位置を確認します。

2 パソコン本体の電源を入れます。

3 「FUJITSU」のロゴマークが表示されたら [Ctrl] を押し続けます。

「 Microsoft Windows 98 Startup Menu 」が表示されます。

アドバイス

「 Microsoft Windows 98 Startup Menu 」が表示されないと

[Ctrl] を押すタイミングが合わなかったことが考えられます。本パソコンを再起動して、手順 3 からやり直してください。

- 4** を押して、「3. Safe mode」を反転表示させ、 を押します。
Safe モードで Windows が起動し、Safe モードの説明が表示されます。

アドバイス

Safe モードで起動しなかったとき

手順 4 で「3. Safe mode」を選択しないまま 30 秒以上経過すると、Safe モードで起動することができません。Safe モードで起動しなかったときは、本パソコンを再起動して、手順 3 からやり直してください。

キーボードタイプのメッセージが表示されたら

画面のメッセージにしたがって を押します。

エラーメッセージについて

Windows が起動してから、いろいろなエラーメッセージが表示される場合があります。すべて「OK」をクリックしてください。

- 5** 「デスクトップ」ウィンドウの「OK」をクリックします。

■ディスプレイアダプタを Super VGA に設定 ■

- 6** 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 7** (画面) をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 8** 「設定」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。
「(不明なデバイス)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 9** 「アダプタ」タブをクリックし、「変更」をクリックします。
「デバイス ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 10** 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください。」というウィンドウが表示されます。

- 11** 「特定の場所にあるすべての...」をクリックして にし、「次へ」をクリックします。

- 12** 一覧から「ディスプレイアダプタ」を選び、「次へ」をクリックします。

- 13** 「製造元」の「(標準ディスプレイ)」をクリックして、「モデル」の「Super VGA」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ドライバ更新の警告」ウィンドウが表示されます。表示されないときは、手順15へ進んでください。
- 14** 「はい」をクリックします。
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というウィンドウが表示されます。
- 15** 「次へ」をクリックします。
「ハードウェア デバイス用に選択したドライバがインストールされました。」というウィンドウが表示されます。
- 16** 「完了」をクリックします。
「(不明なデバイス)のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 17** 「閉じる」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 18** 「閉じる」をクリックします。
「続行しますか？」というメッセージが表示されます。
- 19** 「はい」をクリックします。
「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。
- 20** 「はい」をクリックします。
パソコンが再起動します。

重 要

メッセージが表示されたとき

再起動後に「ディスプレイ設定に問題があります。」というメッセージが表示されたときは、「OK」をクリックし、「画面のプロパティ」ウィンドウの「設定」タブで「色」を「16色」に設定します。「OK」をクリックして本パソコンを再起動してください。

ハードウェアウィザードが始まるメッセージが表示されたとき

ドライバを削除したり、間違ったドライバをインストールしたりすると、「OK」をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、必ず「キャンセル」をクリックしてください。

続いて「Trident Cyber9525DVD PCI/AGP(W98.26)」のインストール(⇒ P.57)を行ってください。

Trident Cyber9525DVD PCI/AGP(W98.26)のインストール

3

ドライバを再インストールする

- 1 「アプリケーションCD」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3  (画面) をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「設定」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。
「(不明なデバイス)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 5 「アダプタ」タブをクリックし、「変更」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください。」というウィンドウが表示されます。
- 7 「特定の場所にあるすべての...」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。
「モデル」の一覧が表示されます。
- 8 「ディスク使用」をクリックします。
「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。
- 9 「配布ファイルのコピー元」の下の欄に `e:\trident` と入力し、「OK」をクリックします。(「e:」には、お客様がお使いのCD-ROMドライブ名を入力してください)
「ドライバ情報データベースの作成」ウィンドウが表示される場合があります。
このウィンドウは、データベース作成後、自動的に表示されなくなります。
- 10 「Trident Cyber9525DVD PCI/AGP(W98.26)」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。
「ドライバの更新の警告」ウィンドウが表示されます。表示されないときは、手順12へ進んでください。

- 11** 「はい」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウに戻ります。
- 12** 「次へ」をクリックします。
ファイルがコピーされます。
- 13** 「完了」をクリックします。
- 14** 「モニタ」タブをクリックし、「ラップトップディスプレイパネル(800×600)」と表示されているか確認します。
・表示されているときは、手順23へ進んでください。
・表示されていないときは、手順15へ進んでください。
- 15** 「変更」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 16** 「次へ」をクリックします。
- 17** 「特定の場所にあるすべての...」をクリックして[]にし、「次へ」をクリックします。
- 18** 「すべてのハードウェアを表示」をクリックして[]にします。
- 19** 「製造元」の「(標準モニタの種類)」をクリックして、「モデル」の「ラップトップディスプレイパネル(800×600)」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ドライバ更新の警告」ウィンドウが表示されます。表示されないときは、手順21へ進んでください。
- 20** 「はい」をクリックします。
ファイルがコピーされます。
コピーが終わると、「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウに戻ります。
- 21** 「次へ」をクリックします。
- 22** 「完了」をクリックします。

- 23** 「閉じる」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- アドバイス**
 「続行しますか？」というメッセージが表示されたとき
 「はい」をクリックしてください。
 「リフレッシュ」ウィンドウが表示されたとき
 「OK」をクリックしてください。続いて、「この設定を保存しますか？」というメッセージが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。
- 24** 「閉じる」をクリックします。
「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。
- 25** 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。
再起動されない場合は、「スタート」メニューから「Windows の終了」を実行し、パソコンを再起動してください。
- 26** 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 27** 「名前」の右の欄に `e:\$trident\$setup.exe` と入力し、「OK」をクリックします。
(e: には、お客様がお使いの CD-ROM ドライブ名を入力してください。)
「Welcome」ウィンドウが表示されます。
- 28** 「Next」をクリックします。
「User Information」ウィンドウが表示されます。
- 29** 「Name」が表示されていることを確認し、「Company」に「FMV」と入力して、「NEXT」をクリックします。
「Start Copying Files」ウィンドウが表示されます。
- 30** 「Next」をクリックします。
ファイルがコピーされます。コピーが終わると、「Setup Complete」ウィンドウが表示されます。
- 31** 「Finish」をクリックします。

- 32** 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 33** 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
- 34** 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブから取り出します。
- 35** 「コントロールパネル」ウィンドウの  (画面) をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 36** 「設定」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。
- 37** 「アダプタ」タブをクリックします。
- 38** 「アダプタとドライバの情報」の「ソフトウェアのバージョン」に
「6.45.5441-121.98.26」と表示されていることを確認します。
表示されていないときは、もう一度手順 1 からやり直してください。
- 39** 「OK」を 2 回クリックします。
- 40** 「コントロールパネル」ウィンドウの右上の  (閉じるボタン) をクリックします。

お使いの状況に合わせて、画面の解像度と発色数を変更してください。

変更方法については、『本体 & オプションガイド』の「画面の解像度と発色数を変更する」をご覧ください。

ご購入時は解像度が 800 × 600 ドット、発色数が High Color (16 ピット) に設定されています。

3

サウンドドライバの再インストールと設定

ゲームなどをインストールして音が正しく出なくなったりしたときは、サウンドドライバを再インストールします。

必ず、「ドライバの再インストールをする前に」(▶ P.52)をご覧になってから、以下の操作を行ってください。

サウンドドライバを再インストールする

- 1 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3  (システム) をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の左の+をクリックします。
一覧が表示されます。すでに表示されている場合は、クリックする必要はありません。
- 5 「Intel (r) 82440MX AC'97 Audio Controller-SigmaTel Codec」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「Intel (r) 82440MX AC'97 Audio Controller-SigmaTel Codec のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 6 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 7 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください。」というウィンドウが表示されます。

- 8** 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し...」をクリックして  に
し、「次へ」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 9** 右下にある「ディスク使用」をクリックします。
「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。
- 10** 「配布ファイルのコピー元」の下の欄に `e:¥sigma` と入力し、「OK」をクリックします。(「e:」には、お客様がお使いの CD-ROM ドライブ名を入力してください)
「デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。
- 11** 「Intel (r) 82440MX AC'97 Audio Controller-SigmaTel Codec」を
クリックし、「OK」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
ドライバ更新の警告ウィンドウが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。
- アドバイス**
「ディスクの挿入」ウィンドウが表示されたとき
「OK」をクリックして、「ファイルのコピー元」に `e:¥sigma` と入力してください。
(「e:」には、お客様がお使いの CD-ROM ドライブ名を入力してください)
- 12** 「Intel (r) 82440MX AC'97 Audio Controller-SigmaTel Codec」が
表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
ファイルがコピーされます。コピーが終わると「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました。」というウィンドウが表示されます。
- 13** 「完了」をクリックします。
「Intel (r) 82440MX AC'97 Audio Controller-SigmaTel Codec のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 14** 「閉じる」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 15** 「閉じる」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウに戻ります。

- 16** 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブから取り出します。
- 17** 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 18** 「再起動する」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。

続いて「音量を調整するウィンドウの設定」(▶ P.63)を行ってください。

音量を調整するウィンドウの設定

ここでは、音量を調整するためのウィンドウの設定を行います。
以下の操作では、音量を調整するためのウィンドウに、不要な項目をいったん表示させて、ミュートに設定します。
次に、各設定に必要な項目を表示させ、初期値を設定します。

3

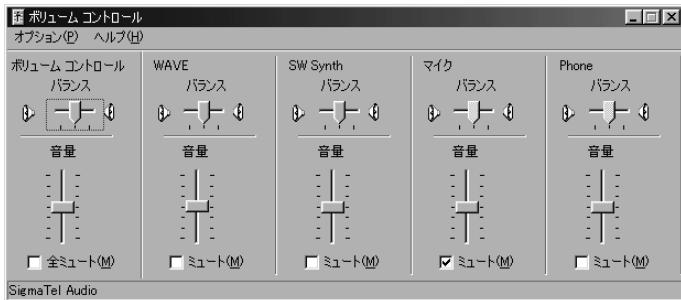
ドライバを再インストールする

ボリュームコントロールの設定

- 1** 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメント」の順にマウスポインタを合わせ、「ボリュームコントロール」をクリックします。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「音量の調整」の「再生」が  になっていることを確認します。
- 4** 「表示するコントロール」の以下の項目が になっている場合は、クリックして にし、それ以外はすべて にして、「OK」をクリックします。
 - 3D Depth
 - ZV
 - CD プレーヤー
 - ライン入力
- 5** 「ボリュームコントロール」ウィンドウですべての項目の「ミュート」をクリックして にします。

- 6** 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 7** 「音量の調整」の「再生」が●になっていることを確認します。
- 8** 「表示するコントロール」の以下の項目が□になっている場合は、クリックして✓にし、それ以外はすべて□にして、「OK」をクリックします。
- ・ボリュームコントロール
 - ・Wave
 - ・SW Synth
 - ・マイク
 - ・Phone
- 9** 「ボリュームコントロール」ウィンドウで「マイク」の「ミュート」が□になっている場合は、クリックして✓にします。その他の項目の「ミュート」が✓になっている場合は、クリックして□にします。

10 各音量のつまみを次のように設定します。

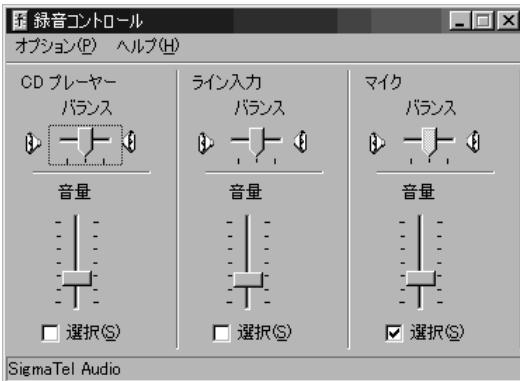


続いて「録音コントロール」の設定を行います。

録音コントロールの設定

- 1** 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「音量の調整」の「録音」をクリックして●にします。

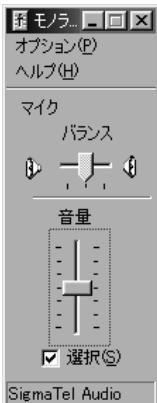
- 3** 「表示するコントロール」の以下の項目が□になっている場合は、クリックしてにし、それ以外はすべて□にして、「OK」をクリックします。
 - ・CD プレーヤー
 - ・ライン入力
 - ・マイク
- 4** 「マイク」の「選択」をクリックしてにします。
- 5** 「オプション」メニューをクリックし、「トーン調整」をクリックしてチェックマークを付けます。
- 6** 「マイク」の「トーン」をクリックします。
「マイクの詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- 7** 「そのほかの調整」の項目の「1 マイクブースト(1)」が□になっている場合は、クリックしてにし、「閉じる」をクリックします。
- 8** 「オプション」メニューの「トーン調整」をクリックして、チェックマークを外します。
- 9** 各音量のつまみを次のように設定します。



続いて「モノラル出力」の設定を行います。

モノラル出力の設定

- 1 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「音量の調節」で「その他」をクリックしてにします。
- 3 「表示するコントロール」の以下の項目がになっている場合は、クリックしてにし、それ以外はすべてにして、「OK」をクリックします。
 - ・マイク
- 4 「マイク」の「選択」をクリックしてにします。
- 5 マイクの音量のつまみを次のように設定します。



- 6 「モノラル出力」ウィンドウ右上の（閉じるボタン）をクリックします。

4

タッチパネルドライバの再インストール

インテリマウスなど、ドライバの添付されたポインティングデバイスを使用する場合は、いったんタッチパネルドライバをアンインストールしてから、それらのドライバをインストールする必要があります。この場合、タッチパネルは利用できなくなります。また、インテリマウスなどのご利用をやめて、タッチパネルを使用する場合は、タッチパネルドライバを再インストールする必要があります。

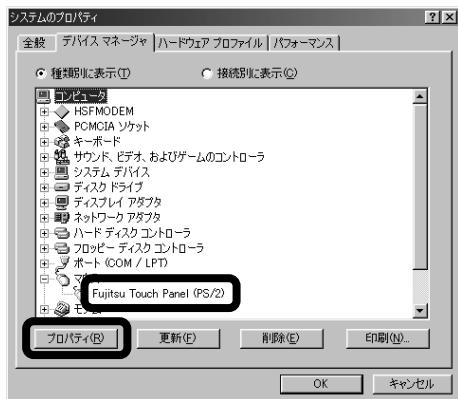
タッチパネルドライバを再インストールする

- 1 CD-ROM ドライブに「アプリケーション CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 3  (システム) をクリックします。
- 4 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 5 「マウス」の左の+をクリックします。

3

ドライバを再インストールする

- 6** 表示された PS/2 のドライバ名をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



- 7** 「ドライバ」のタブをクリックし、右下の「ドライバの更新」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 8** 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください。」の画面が表示されます。

- 9** 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し...」をクリックして にし、「次へ」をクリックします。



「ハードウェアの製造元とモデルを...」のウィンドウが表示されます。

- 10** 右下にある「ディスク使用」をクリックします。

- 11** 「配布ファイルのコピー元」の下の欄に `e:\$tpanel` と入力し、「OK」をクリックします。(「e:」には、お客様がお使いの CD-ROM ドライブ名を入力してください)

12 「次へ」をクリックします。

「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というメッセージが表示されます。

「ドライバ更新の警告」が表示された場合は「はい」をクリックします。

13 「次へ」をクリックします。

「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました」というメッセージが表示されます。

14 「完了」をクリックします。

「システム設定の変更」のウィンドウが表示されます。

15 「はい」をクリックします。

しばらくすると、本パソコンが再起動します。

アドバイス

正しく更新されたか確認するには

次の手順で確認してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (システム) をクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 4 「マウス」の左の+をクリックします。
- 5 「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 6 「ドライバ」のタブをクリックします。
日付が "10-5-1999" となっていることを確認します。

タッチパネルドライバをアンインストールする

ここでは、インテリマウスなどのドライバをインストールするときに、あらかじめタッチパネルドライバをアンインストールする方法について説明します。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2  (アプリケーションの追加と削除) をクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3

ドライバを再インストールする

- 3** 「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。
「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」ウィンドウが表示されます。
- 4** 「はい」をクリックします。
「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」が削除されます。
- 5** 「いいえ」をクリックします。
「はい」をクリックした場合、再起動するまで数分かかることがあります。
- 6** 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 7** 「再起動する」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。

重 要

マウスポインタの位置のずれを修正する

タッチパネルドライバの再インストール後や画面サイズを変更した後で、タッチパネル上のタッチした位置とマウスポインタの位置がずれてしまうことがあります。その場合は、『本体＆オプションガイド』の「タッチパネルの調整のしかた」をご覧になり、調整を行ってください。

タッチパネルが正常に動作しない場合

「Fujitsu Touch Panel(PS/2)」ドライバがインストールされていない場合、または画面の解像度を 640×480 ドットに設定した場合は、タッチパネルは正常に動作しません。その場合は、クイックポイントをお使いください。

MEMO

MEMO

MEMO

Microsoft、Windows、Windows NT、MS、MS-DOSは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
@niftyは、ニフティ株式会社の商標です。
K56flexは、Lucent Technologies社、Conexant Systems Inc.の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社 2000
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

FMV-BIBLO リカバリガイド

B3FH-5891-01-01

発行日 2000年2月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利については、
当社はその責を負いません。

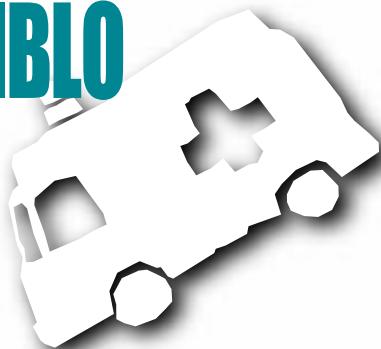
無断転載を禁じます。

落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

(ア) 0002-2

リカバリガイド

FMV-BIBLO



FUJITSU[∞]



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

T4988618875516

